

LIXIL

## WL 中折れドア丁番 交換手順書

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 必要な工具 | 手回しプラスドライバー、マイナスドライバー、調整スパナ |
|-------|-----------------------------|

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡してください。

### ■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲ 注意** …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害、軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

### ▲ 注意

- 本体の取外し・吊込みは必ず2人以上で作業をしてください。本体が倒れるおそれがあります。
- 丁番は本体に必ずねじ止めし、親扉と子扉で段差がないように固定してください。丁番に負担がかかり、本体の開閉に支障が出る場合があります。

### ■取付け上のお願い

- 丁番のねじ締付け時には、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

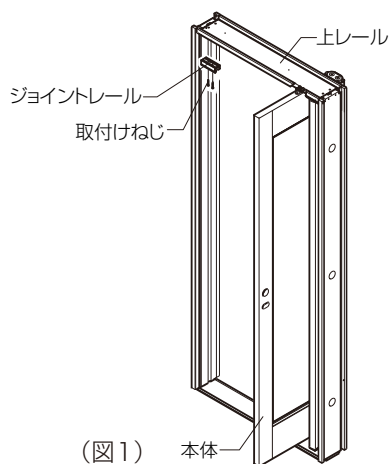
### ■交換手順

#### 1. 本体の取外し

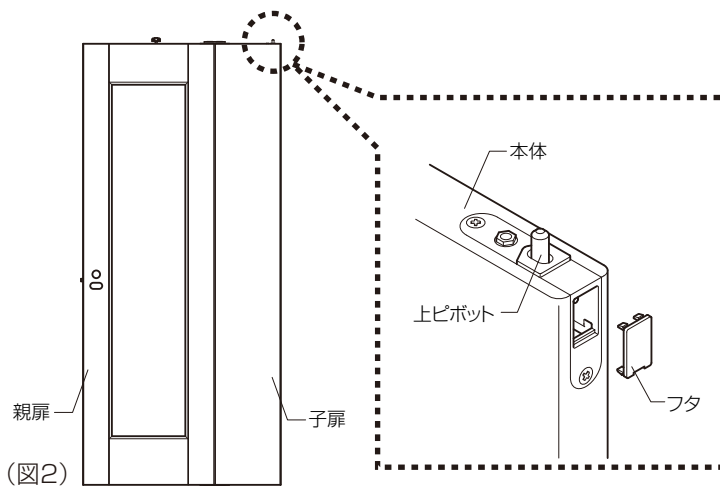
### ▲ 注意

- 本体の取外しは必ず2人以上で作業をしてください。本体が倒れるおそれがあります。

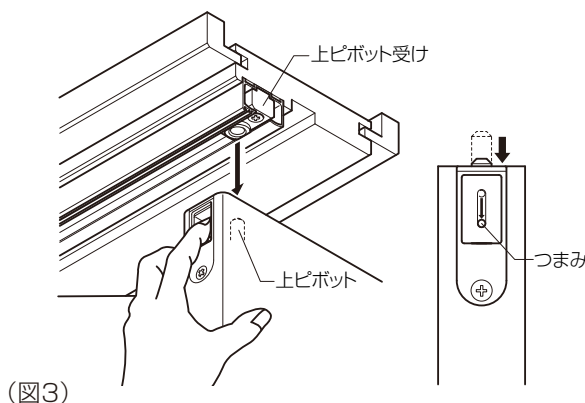
- ①本体をたたみ、ジョイントレールを固定しているねじをゆるめて、ジョイントレールを外してください。  
※取外したねじは再度使用しますので、なくさないように注意してください。(図1)



- ②上ピボットのフタをマイナスドライバーなどで外してください。  
※取外したフタは再度使用しますので、なくさないように注意してください。(図2)

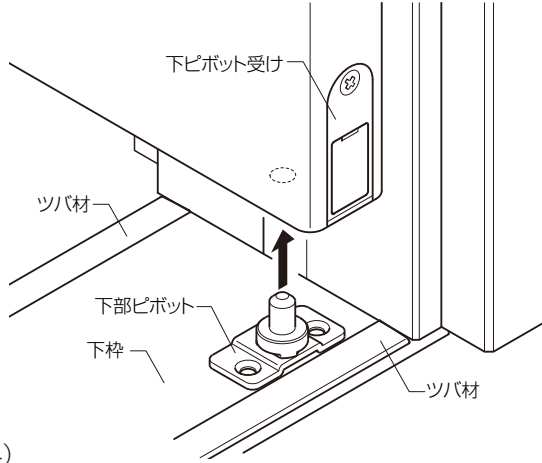


- ③上ピボットのつまみを下げて、レール内の上ピボット受けから軸を外してください。(図3)

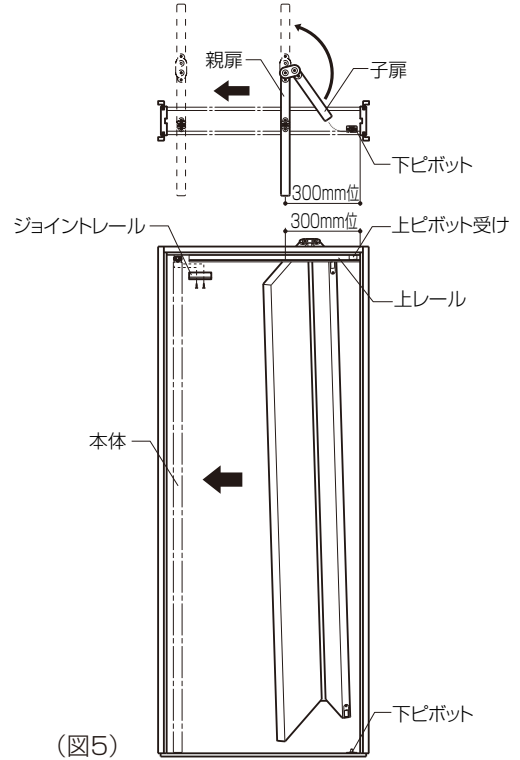


④本体を斜めに持ち上げながら、本体の下ピボット受けから下部ピボットを取外してください。(図4)

⑤吊元側の縦枠から吊車が300mm位きたところで子扉を広げ、上枠と90°にしてレールの端部より本体を取外します。  
※吊車をレールと平行にしておいてください。(図5)



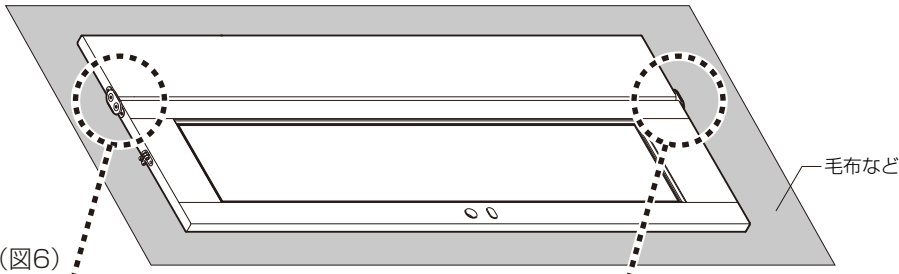
(図4)



(図5)

## 2. 丁番の交換

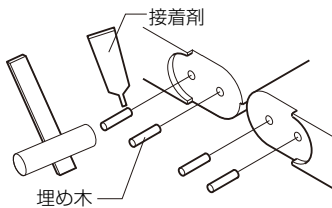
①本体を開いた状態で床に置き、ねじを取外して丁番を交換します。  
※床にキズをつけないように、毛布などを敷いて作業を行ってください。  
※ねじが空回りする場合は、必ずねじ穴に埋め木をし、ねじの保持力を高めてください。(図6)



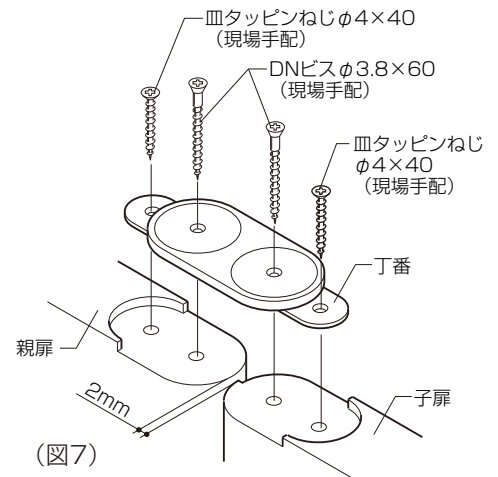
(図6)

### ■埋め木の取付け方

- ①埋め木に接着剤を付けてください。
- ②ねじ穴に埋め木を入れてください。
- ③埋め木がねじ穴からはみ出る場合は、カッターで削ってください。



②丁番の両端部は皿タッピンねじφ4×40(現場手配)で、中央部はDNビスφ3.8×60(現場手配)で固定します。  
※本体を広げた状態で、親扉と子扉のチリを2mm確保してください。(図7)



(図7)

### ▲ 注意

- 丁番は本体に必ずねじ止めし、親扉と子扉で段差がないように固定してください。丁番に負担がかかり、本体の開閉に支障が出ることがあります。

### ●お願い

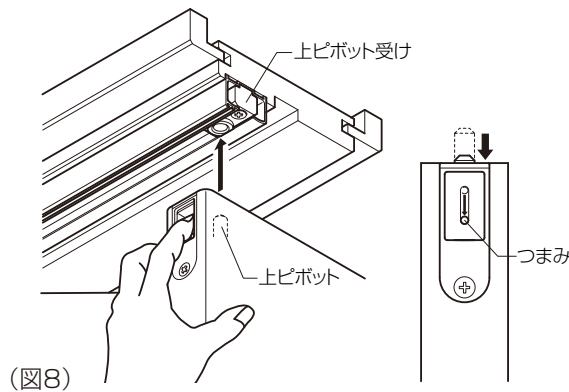
- ※丁番のねじ締付け時には、手回しドライバーを使用してください。電動ドライバーを使用すると、ねじ頭がとんだり、つぶれる場合があります。

### 3. 本体の吊込み

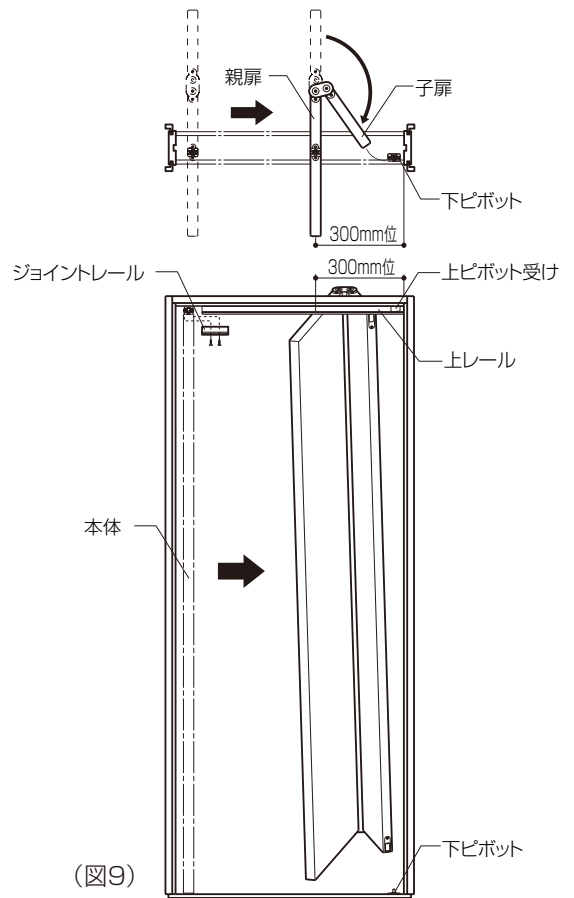
#### ▲ 注意

- 本体の吊込みは必ず2人以上で作業をしてください。本体が倒れるおそれがあります。

- ① 本体を開いた状態で上枠と 90° にしてレールの端部より本体を吊込みます。  
※ 吊車をレールと平行にしておいてください。
- ② 吊元側の縦枠から吊車が 300mm 位にきた所で、子扉を折り始めて本体を斜めに持ち上げながら、下部ピボットを本体の下ピボット受けに入れ込んでください。
- ※ 子扉は完全に折りきらないようにしてください。(図9)
- ③ 上ピボット内のつまみを下げ、軸を下げてください。レール内の上ピボット受けに軸を入れてください。(図8)
- ④ ジョイントレールを固定して、上ピボットのフタをはめ込んでください。(図1、図2)



(図8)



(図9)

### 4. 本体の調整

- 吊車およびピボットで上下・左右の調整をします。

**上下調整**

- 吊車で調整します。調整幅は±3mmです。
- 付属の調整スパナで時計回りに回すと扉が上がり、反時計回りに回すと扉が下がります。

**左右調整**

- 上・下ピボットで調整します。調整幅は±2.5mmです。
- 付属の調整スパナで上下ピボットの調整ボルトを回して調整します。

|       | 扉を左へ  | 扉を右へ  |
|-------|-------|-------|
| 上ピボット | 時計回り  | 反時計回り |
| 下ピボット | 反時計回り | 時計回り  |

